

NIHON UNIV. Equestrian Team

Vol.36
2022. winter



万里一空の精神

監督 諸岡 慶

令和4年度、三木ホースランドパークにて行われた、第72回全日本学生馬術三大大会2022にて12連覇を達成することが

できました。この場をお借りして日頃、日本大学馬術部の活動に理解していただきご協力を頂いている方々に感謝申し上げます。さて、勝負というものは何が起るかわからないというのを今大会でも数多く経験をしたとともに勝負の厳しさというものを多く味わった大会となりました。振

り返りますと、障害馬術、総合馬術で団体優勝するも、8連覇がかかった馬場馬術の団体優勝を逃してしまいました。今年度、団体優勝を逃してしまった馬場馬術競技で来年巻き返すため、冬場の基礎練習と馬に対する正しい扶助方法を特に指導していきます。強くなった日大馬場馬術チームの強さをお見せできるよう精進いたします。さて、1年のころから主要選手として試合に出場してきた4年が今年で学生馬術を終え新しい道を進むこととなり、図らずとも世代交代の波が訪れたことで、下級生たちも意識を新たに練習に取り組んでいます。大学の名前を掲げ、恵まれた環境で一心にスポーツができることを当た

り前と思わず、学業成績も兼ね備えた文武両道のスポーツマンに育ってほしい、そしてこの4年間という時間を意味のあるものとして社会に出て行ってほしい、そのために監督・コーチ陣は日々指導とサポートを行っています。今回の12連覇という結果はまだ満足いくものではありません。私たちが目指しているものは18連覇、そしてその先の記録であります。そのために今回抱えた課題を課題のままにせず解決した後のレベルアップが大前提であります。来年再来年と止まらぬ成長をお見せできるよう、全身全霊で取り組んでまいりますので、今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

👑 全日本学生馬術三大大会 三種目総合で 12連覇!! 👑

今回の全日本学生馬術三大大会(11/1~11/6)は障害馬術競技、総合馬術競技の2種目で団体優勝し、個人では馬場馬術競技で4年楠本将斗が優勝、総合馬術競技では同じく4年の瀬川裕哉が優勝しました。本学は三種目総合でも優勝し、見事12連覇を勝ち取りました!! 障害馬術競技の1走行目は、4年楠本将斗&桜真、4年瀬川裕哉&桜望が安定した走行を見せ見事減点0、4年吉田ことみ&桜艶が減点4、2年大池駿和&桜妃が減点6、4年鷹見優&桜魂が減点10で続きました。団体は本学が総減点4で1位通過をし、暫定2位に入った明治大学とは減点2の差でした。2走行目は、楠本将斗&桜真、瀬川裕哉&桜望が共に減点0。吉田ことみ&桜艶が減点1、鷹見優&桜魂が減点4、大池駿和&桜妃が減点8で走行を終え、見事2日間ともクリアラウンドで走行を終えた楠本将斗&桜真、瀬川裕哉&桜望がジャンプオフに駒を進めました。そして個人は瀬川裕哉&桜望が7位、楠本将斗&桜真が8位に入賞しました。惜しくも障害馬術競技での個人優勝は叶いませんでしたが、団体では本学が総減点5で、2位の明治大学と9点差をつけて優勝しました。馬場馬術競技では、4年楠本将斗&桜陽が最終得点率65.461%、4年瀬川裕哉&桜宇が最終得点率64.462%、4年中込樹&桜囁が63.692%で続き、3人馬が

無事に決勝進出を決めました。3年アンナ ボルトニク&桜鷹は最終得点率59.346%で決勝進出は叶わず、悔しい結果が残るものとなりました。翌日行われました決勝競技では3人馬とも観客を魅了する素晴らしい演技を披露し4年楠本将斗&桜陽が最終得点率68.510%で見事個人優勝をし、4年瀬川裕哉&桜宇が最終得点率66.475%で3位に入賞し、4年中込樹&桜囁が最終得点率66.420%で5位に入賞しました。この上位3人が団体成績に大いに貢献し、団体合計得点率193.616%で終えました。団体1位の立命館大学は団体合計得点率194.077%で、あと少しというところで団体優勝は逃してしまいましたが、最高の演技を見せてくれました! 最終種目となった総合馬術競技は2日間に渡って行われました。調教審査で3年アンナ ボルトニク&桜彩が71.23%でトップに立ち、2位に4年瀬川裕哉&桜焰、3位に4年楠本将斗&桜空、4位に4年吉田ことみ&桜里が続いて上位に入り、4年細川由妃&桜恋が58.91%でスタートし、最終日の耐久審査と余力審査に向かいました。耐久審査では、5人馬中4人馬が無過失で難

しいコースを走り切り、3年アンナ ボルトニク&桜彩が減点66.4でゴールしました。最終競技の余力審査では4人馬が満点で走行を終え、見事4年瀬川裕哉&桜焰が個人優勝を果たしました。そして2位に4年楠本将斗&桜空、3位に4年吉田ことみ&桜里と続き、10位に4年細川由妃&桜恋が入賞しました。3年アンナ ボルトニク&桜彩は惜しくも入賞には届きませんでしたが、上位3位を本学が独占する結果となり、団体も2位早稲田大学に減点数26.6の差をつけ優勝し、無事に全種目を終えました。これらの成績を残せたのは、監督はもちろんコーチの方々、様々な視点からサポートをしてくださったOB・OGの皆様、保護者の方々のお陰です。ありがとうございました。来年も引き続き、連覇を継続するため部員一同気を引き締め日々精進していきたいと思っておりますので、これからもご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



令和4年度全日本学生馬術三大大会

個人
優勝

第65回 全日本学生賞典馬場馬術競技大会

4年 楠本 将斗 桜陽



今回私は桜陽、桜空、桜真で出場させていただきました。

目標としては三種目制覇を目指していました。桜空も桜陽も私が乗って勝たせてくれましたし、桜真も十分に勝てる実力のある馬でした。結果、終わってみれば障害馬術8位、馬場馬術優勝、総合馬術2位という結果でした。正直自分が求めていた結果ではなかったですが、桜陽との2連覇を素直に喜びたいと思います。最終学年で全力で戦った結果が今の私の全てだと思うので悔いはありません。最後まで私を出させてくれた監督、コーチ、馬たちに感謝し、今後の競技人生の糧にしたいと思います。

個人
優勝

第65回 全日本学生賞典総合馬術競技大会

4年 瀬川 裕哉 桜焰

今回3頭の馬たちと3種目に出場させていただきました。今年は最終学年ということもあり、これまで以上に「勝つ」ということを意識して全ての競技に挑みました。これまで気持ちでは思っていたも周りから比べると勝ちたいという執着が足りず、最後にもどかしい思いをして勝利を逃すことが多く、そんな自分の殻を破る思いで挑みました。



総合馬術競技では、桜焰に乗せていただき個人優勝することができました。

障害馬術競技、馬場馬術競技では優勝は逃してしまいましたが、今までのベストの走行ができたと思います。

入学時より全日本学生での個人優勝は目標としていたので最後の年に優勝という結果を残せたこと、また監督、コーチをはじめグリームやこれまで応援してくださった方々に少しは恩返しができたと思います。

そして今年全日本タイトルを2つ獲ってくれた桜焰には本当に感謝しています。

第65回 全日本学生賞典総合馬術競技大会

個人3位 4年 吉田 ことみ 桜里

今回は桜艶と桜里とコンビを組ませていただきました。結果としては昨年に引き続いての個人2連覇を達成することはできず、悔しい気持ちもありますが、4年間の集大成として、精一杯の力を出し切ることができた達成感のある試合となりました。



また12連覇を繋げることができとてもうれしく思います。

1、2年生では1種目ずつ、3、4年生では2種目。4年間レギュラーとして全日本の舞台に立ち、毎年入賞させてくれた桜艶、桜里、そして未熟者の私を指導して下さり、支えてくださった監督はじめコーチの方々には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

第65回 全日本学生賞典馬場馬術競技大会

個人5位 4年 中込 樹 桜囀

今回馬場馬術競技に出場させていただきました。

昨年と同じく桜囀とコンビを組ませていただき、昨年と同じ5位という結果でした。

順位としては去年と同じですが、今年の決勝では少しのミスはあったものの集大成の演技が出来たと思います。それもこの素晴らしい練習環境を整えて下さった日本大学、そして監督並びにコーチの方々、そして何より桜囀がいての結果です。

大学での4年間で学んだ日々、周囲の方々へ感謝することそして馬に尽くし努力を怠らないこと、それらを胸にこれからプロの世界で頑張りたいと思います。



全日本学生馬術選手権大会

今回、北海道のノーザンホースパークで行われました。全日本学生馬術選手権大会では男女別で提供された貸与馬に乗り、決められた時間内で運動時間で初めて乗る馬の特徴などを把握し競技に挑むため、高度な技術が求められる大会です。本学からは男子5人、女子4人が関東予選を突破し今大会に出場致しました。決勝戦には、男子が4年楠本将斗と1年川野剛、女子は4年吉田ことみと2年越後りのが勝ち進み、男子は4年楠本将斗、女子は2年越後りのと男女ともに優勝を勝ち取りました！4年楠本将斗は昨年の全日本学生馬術選手権大会でも優勝しているため、見事2連覇を達成しました！他の選手も男女ともに上位入賞を果たすことができ、日大の強さを表すことができたと思います。今回、選手達が活躍できたのも応援してくださった皆様があつてこそこの結果であります。来年に向け、部員一同日々精進いたしますので、これからも応援の程よろしくお願いいたします。



優勝

4年 楠本 将斗



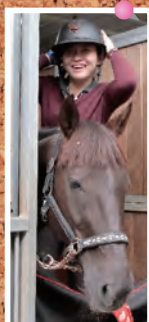
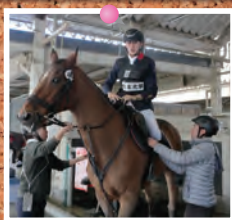
私自身2連覇のかかっている試合でした。
終わって蓋を開けてみれば結果2連覇することができて良かったです。
そんなことを考えている余裕のない試合でした。今回の試合での鍵は3回戦だと思っていて、瀬川、中込と当たってしまったことです。ここで勝ち切ったことで自信にもなり勝つという道が開かれた気がします。
3年生の関東学生選手権から勝たせてもらっています。最後の年にこのような結果を残すことができてよかったです。



優勝

2年 越後 りの

全日本学生馬術女子選手権大会に出場し、優勝することができました。
正直自分でも驚きましたが、大きな自信に繋がりました。
普段尊敬している先輩や、他大の活躍している選手とあたり、不安な場面が多くありましたが、得意の馬場で“見せてやるぞ！”と積極的に乗ると点も伸びました。とてもうれしかったです。
今回結果を出すことができたのは、監督をはじめとするコーチ、先輩同期、後輩、運営側の方などたくさんの方々たくさんの馬たちのおかげです。ありがとうございました！
今回の結果だけで満足せず、2連覇、3連覇を目指してこれからも精進してまいります。
宜しくお願いいたします！





39名の 部員紹介



(4年) 楠本 将斗
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(4年) 瀬川 裕哉
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(4年) 鷹見 優
生物資源科学部 国際地域開発学科



(4年) 中込 樹
生物資源科学部 国際地域開発学科



(4年) 吉田 ことみ
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(4年) 細川 由妃
生物資源科学部 食品ビジネス学科



(4年) 堀坂七菜子
生物資源科学部 生命農学科



(4年) 松尾 ゆずか
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(4年) 西尾 純伶
生物資源科学部 獣医学科



(4年) 澤登 ちほみ
生物資源科学部 動物資源科学科



(4年) 坂井 千優
生物資源科学部 動物資源科学科



(3年) 長田 結愛
生物資源科学部 国際地域開発学科



(3年) Anna Bortnik
生物資源科学部 国際地域開発学科



(3年) 小濱 千晴
生物資源科学部 食品ビジネス学科



(3年) 原田 実和
生物資源科学部 獣医学科



(3年) 荒木 美緒
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(3年) 堤田 尚志
生物資源科学部 国際地域開発学科



(2年) 藤田 華暖
生物資源科学部 国際地域開発学科



(2年) 越後 りの
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



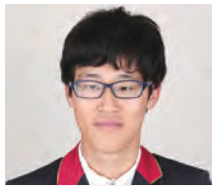
(2年) 濱田 駿
生物資源科学部 食品ビジネス学科



(2年) 村山 駿哉
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(2年) 飯隈 亮介
生物資源科学部 食品ビジネス学科



(2年) 横山 雄太
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(2年) 大池 駿和
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(1年) 上田 龍輝
生物資源科学部 食品ビジネス学科



(1年) 川島 洋哉
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(1年) 川添 仁胤
生物資源科学部 国際地域開発学科



(1年) 川野 剛
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(1年) 菅野 玲真
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(1年) 西 悠太
生物資源科学部 国際地域開発学科



(1年) 板垣 翔明
生物資源科学部 獣医学科



(1年) 井上 明大
生物資源科学部 生命農学科



(1年) 浅野 華菜
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(1年) 奥田 記枝
生物資源科学部 食品ビジネス学科



(1年) 加藤 千佳
生物資源科学部 国際地域開発学科



(1年) 富田木乃香
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(1年) 西川クレア輝
生物資源科学部 動物資源科学科



(1年) 西山利衣愛
生物資源科学部 獣医学科



(1年) 藤本 道子
生物資源科学部 食品ビジネス学科

令和5年度 前期行事予定



1月

- 初乗り会

2月

- 新春ホースショー
- 関東学生馬術新人戦・OB戦
- 第66回三獣医大学馬術大会

3月

- 第43回スクーリングジャンプ&ドレッシング

4月

- 第60回東都学生馬術大会
- CCI2*MIKI

5月

- 関東学生馬術選手権大会・女子選手権大会
- 第44回全日本ヤング総合馬術大会 2023

6月

- 令和5年度関東学生馬術三大大会
- 関東ブロック大会



卒業生の主な就職先

(順不同)

- 日本大学
- JRA日本中央競馬会
- 地方競馬全国協会
- 株式会社乗馬クラブクレイン
- 福井工業大学
- 獣医師
- 株式会社P&Pホールディングス
- SMBC日興証券
- 公益社団法人日本馬事協会
- ノーザンファーム
- 有限会社松風馬事センター
- 東海道路旅客鉄道株式会社
- 日本馬事普及

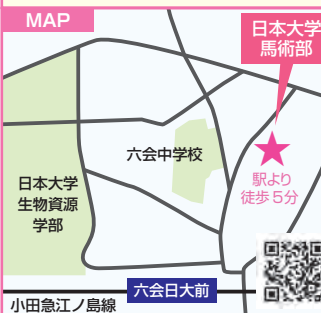
宿泊所・馬場

〒252-0813
神奈川県藤沢市亀井野 840

TEL:0466-81-0288

FAX:0466-81-8885

▶ e-mail
nihonndaigakubajyutubu@gmail.com



○編集担当: 松尾 ゆずか 堀坂 七菜子 長田 結愛

日本大学馬術部
ホームページ



Facebook



Youtube



Instagram



Twitter

